

つれもて会2026年冬の番外 金剛山の記録

2026.02.10

1. 実施日：2026年2月8日（日）
2. コース：8：50 発南海高野線河内長野駅前→（バス）9：30 金剛山千早本道登山口着535m→9：50 アイゼン装着555m→10：40・5合目→11：30・6合目855m（記念写真）→12：10・9合目→山頂着1,125m着（12：20）。
お鍋を沸かして、屋根の下で吹雪の中、昼食タイム
13：30 下山開始→15：10 登山口着アイゼン・スパッツを外しバス停へ
13：35 登山口バス停発→16：10 河内長野バス停着
（メートルは高度。時間は到着時、山頂から登山口まで約3kmとありましたが実際は2.5kmのようでした。）
3. 参加者：大西、北村、熊谷、藤田、仁木、西本、小瀧（7名）（久ぶりに7名の参加者）
4. 難度：技術3、体力4。マイナス7℃。登りやすい道ではあったが、吹雪の中雪まみれで手袋も凍ってしまうような状況。
5. 天候：雪。（山頂は吹雪）前日の天気予報でも大雪の予報。人出は少ないと思っていたが三国ヶ丘から電車に乗ると登山の格好をした人で一杯。しかも女性の多さにびっくり。河内長野に近づくとつれて一面雪景色。駅前の道は踏みしめられて氷で滑りそうぐらい。
6. トピックス：全員、早目にそろい1本早めのバスで登山口へ。バスも満員、早めに並んでいて全員着席。バスを降りて坂道を上りだすとすぐに雪道、さっそく全員アイゼンを装着。（久しぶりのアイゼン装着に一苦労し再出発）新雪（山頂近くは15cm以上？）を踏みしめて登山開始、道も丁度登りやすい段差で、雪道で急な登坂にも見えず、逆にペースが早くなってしまい、前を歩く人のペースに乗ったこともあり、途中でペースを落としたが、仁木さんがダウン。6合目地点でリタイヤ、お一人で下山されました（無事にご帰宅を確認）。お一人で帰っていただき反省。
以降は6歳の子供にも抜かれるほどゆっくり、20分に1回程度の小休止で休み休み歩いて2時間半で登頂（当初の予定通り）。
今回は北村さんに、チキンラーメンとおでんを準備していただき山頂で暖かい食事ができるということで弁当なしの身軽な格好で登山。山頂の屋根ある小屋の下でコンロに火をつけおでんを温めようとするが、マイナス7℃・吹雪・高度のせいかな？一向に温まらず、熊谷さん持参の稲荷ずしとサンドイッチをつまんで少し待つが結局少しあったかくなかったところでおでんを食べ始める。チキンラーメンのお湯を沸かすのを待っていると、凍えてしまうということで、下山を決意、早々に撤収する。
雪が珍しいのか、外国の方（フィリピン他）も多く、アイゼン内なしの運動靴や街中で履くような「滑り止め」を付けての登山者もいました。「大雪で不要不急の外出は」という注意にもかかわらず、結構な人出でした。山頂では吹雪のせいで長居をする人は少なくコンロで食事というのは我々を含めて数組で、着いたらすぐ下山のようです。（食堂で食事をしていたのかもしれませんが。）同じ道を下山。すこしバスを待って河内長野へ。駅前の居酒屋へ一直線、ビールで乾杯のところをあったかい焼酎を頼み乾杯、一息つく。19：29解散。

以上（文責小瀧）



6合目にて(全員)



小屋下で昼食開始



食事中も背中に雪が積もる